

政府

みやち 宮地 アンガス 2020.6.28

日曜論壇

緊急事態宣言の解除後、県は県内観光を促進する「一家族一旅行キャンペーン」を始めた。今月19日には県外からの観光客誘致が可能となった。海外に目を向けると、先週から格安航空が欧州の空を飛び始めている。

私は新型コロナウイルスの出現前から、観光誘客には「M・A・P(マップ)」が重要だと主張してきた。MAPと言っても地図ではない。「魅力」のM、「安心」のA、「プロモーション」のPだ。観光誘客を成功させるには、この三つの要素をバランス良く高



めていくことが必要になる。しかしコロナ禍でわ

れわれのニーズや生活様式に変化が生じた。効果的な観光誘客のためにM・A・Pの内容を再点検する必要がある。本県の観光が出遅れないために、いま一度考えてみたい。

まずは、観光地や観光施設のM「魅力」についてである。感染リスクがあるかもしれない

誘客へM・A・P強化急げ

一つだ。観光客目線に立った観光地や施設の新しい魅力を見つけ、今のうちに施策を打つことを提言したい。

次はAの「安心」について。コロナ禍は「3密」という安心・安全に関する新たな判断基準を定着させた。これにより不特定多数の人と空間を共

有したり、物に接触したりすることが不安要因となった。その不安を払拭するために、は、衛生安全上の取り組みの強化やその過程を見える化することが重要となる。

最後にPの「プロモーション」だが、プロモーションは「伝えること・営業すること」

である。前述した新たな魅力や、客が安心できる取り組みをしつかり伝える工程だ。またプロモーションの方法も考えなければならぬ。テレワークが増えたことでテレビ会議ツールや動画を使ってコミュニケーションをとることが増えた。テレビ会議ツールを

利用したバーチャルツアーを提供する旅行会社も増えている。今後はバーチャルも加えた複合型のプロモーションも考えられる。観光地の新しい魅力や安全に対する取り組みがしつかりと伝わるプロモーションを用意する必要がある。

(ジャパン・ワールド・リンク社長)

弊社の会員制交流サイト(SNS)の傾向を分析すると、今月に入り英語で発信している観光コンテンツの閲覧数が急増している。旅行したいと考える層の広がりが見えてきた。世界中が観光再スタートの号令を今か今かと待ち受けているような状態なのだ。

うかうかしてはいられない。今のうちに官民が力を合わせてM「魅力」、A「安心」、P「プロモーション」の三つの要素を最大限強化しておくのだ。その三つがそろえば、本県の観光はきれいなスタートダッシュを決め、順調に加速していくと言えるだろう。

(ジャパン・ワールド・リンク社長)

拡大G7 韓国参加反対

外交筋によると、日本政府要。一方、議長国はG7以外高官が反対を伝達した。外の国をアウトリーチ(拡大構想が表面化した直大) 会合に招待する権限が後。韓国の文在寅政権の外ある。日本政府は「アウト交が南北融和を優先している。リーチなら問題ない」と見領選後に開催する可能性に